

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	ヘリコバクター・ピロリ菌除菌症例の全国前向き調査 - 全国除菌レジストリー -		
2. 対象患者	40歳以上75歳未満でH. pylori除菌療法を実施し除菌成功が確認できた患者さん		
3. 対象となる期間	令和3年 1月 1日 ~ 令和24年 3月 31日		
4. 実施診療科等	消化器血液内科		
5. 研究責任者	氏名	珍田 大輔	所属 地域医療学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	愛知医科大学医学部 公衆衛生学講座 菊地 正悟		
7. 研究の意義	現在、H. pylori除菌療法の胃癌予防効果に関するエビデンスは不足している。青森県はH. pylori感染者が全国的にみて多いことが知られているため、今後の胃癌患者の動向を踏まえ、除菌療法による胃癌の予防を検証します。		
8. 研究の目的	除菌治療後の胃癌発症リスクを解析することにより、H. pylori感染胃炎に対する除菌治療の保険適用拡大の有用性とその課題を検証し、除菌による胃癌の発生率の変化を全国レベルの大規模調査で明らかにします。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	対象者の基本情報・性別、生年月、登録施設でのみ連結可能な匿名化ID、胃癌治療歴(時期、方法)、除菌前の内視鏡実施日、胃粘膜萎縮の程度、鳥肌胃炎の有無、除菌対象疾患、除菌治療開始日、除菌判定日、除菌成功確認日、判定方法、除菌成功後の前向き経過観察時登録後の内視鏡検査実施日、胃癌発見の有無および胃癌発見時には早期・胃癌進行の区別、治療法を日本ヘリコバクター学会専用のWeb上より登録し、解析します。 本研究の実施と関係なくH. pylori除菌後は胃癌のリスクは低下しますがゼロにはならないため、定期的に内視鏡検査をうける必要があります。そのため、本研究が終了するまでの間、内視鏡検査の結果については研究代表機関へ提供いたします。		
10. 個人情報の保護	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、本研究で取得した情報は本研究以外には使用しません。研究期間中及び終了後にも個人が特定されないように十分配慮致します。		
11. 利益相反に関する状況	開示すべき利益相反はありません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 地域医療学講座 珍田大輔		
	電話	0172 - 33 - 5111	FAX 0172 - 37 - 5946

提出先: 医学部附属病院総務課総務グループ(総務・広報担当) mail: jm6453@hirosaki-u.ac.jp

事前に大学院医学研究科倫理委員会の審査を経て許可されている必要があります。

(許可通知の写しを添付のこと)